

世界 31 ヶ国で選ばれている WMA 野外災害救急法

都市部の救急システムが使えない状況で
あなたは何かができますか？

自分の命を、そして、大切な人の命を守れますか？

ここには命をつなぐ授業があります。
手に残る技術があります。

WMA 野外・災害救急法とは

どんな状況でも
特にウィルダネス状況下

どんな
傷病者でも

救助者が
誰であっても

何が最善か判断し行動できる救急法

ウィルダネス状況下

救急車がなかなか来ない
病院になかなか行けない

山奥や離島、機能が麻痺した都市、被災地など、
過酷な自然環境、限られた携行資材、医療機関での
処置を受けるまでに時間を要する状況。

野外・災害救急法の特徴

一般的な救急法

症状と対処を1つずつ学習
→項目に含まれない内容・
想定外に対応できない

救急車が来るまで
10分程度

救急隊が来るまで
最低限の対処

一般市民対象

野外・災害救急法

体の仕組み・原理の理解
→症状・環境に合わせて
応用できる

医療機関での処置を受ける
まで長時間

医療につなぐまで、現場で
最大限の観察・評価し、
最善の行動をし続ける

一般市民
アウトドアガイド
医療従事者 対象

目の前で倒れている傷病者に対して、ただ教科書通りの対応をするのではなく、「理想 vs 現実」「リスク vs 効果」の天秤にかけ、救命の連鎖を繋ぐためにできる最善とは何かを考え、行動できます。

カリキュラムを通して身につくもの

- ・ 傷病の緊急度合いを計るための知識・評価方法・明確な判断基準
- ・ できることを増やすと同時に、限界を知ることが明確な判断・行動につながる
- ・ 経験やフィーリングに頼らない判断
「あなたは下山すべきです、なぜなら～」と理屈でコミュニケーションでき、「様子を見る」としても何を見るのか説明できる
- ・ 事故対応スキルとしてだけでなく、**日常ではリスクマネジメント、事故予防としても活用できる**

一般市民が受けられる 最高レベルの医学教育プログラム

生命維持の基本原理・システムを究極にシンプルにまとめ、
人体の仕組みを理解することからアプローチします。
医療従事者と同じ骨子・考え方を高校生でもわかるパッケージにまとめています。

実践的で手に残る教育法

知識で終わらず、現場で行動に移せるようになるための実技セッションに多くの時間を割きます。

リアリティにこだわった実技セッション



怪我や病気を再現するため、傷病者役への徹底した演技指導とメイクアップ。



悪天候でも野外環境で行い、傷病者の容態変化も再現。寒風吹く中、傷病者を環境から保護することがいかに大切な、身をもって体験。



多様なバックボーンの参加者。各現場のリアルな事例から触発されディスカッションが白熱することも。

ガイドに求められるケアスキル

北海道による一歩踏み込んだ取り組み

知事が認定する「アウトドアガイド資格制度」をアドベンチャーツーリズム（下記参照）への対応を背景に大幅に見直す方向で検討。



北海道体験観光推進協議会招致による開催

グローバル・スタンダードなガイドスキルとして、文化や歴史に関する知識、英語などのコミュニケーション能力と合わせて、野外救急法（WAFA 40 時間）を指定。

アドベンチャーツーリズム

「自然」・「文化体験」・「アクティビティ」の3つの要素のうち、2つ以上で構成される体験型の旅行形態の1つです。アクティビティを通じて、地域の自然・文化を体験することで、旅行者自身が新しい・多様な価値観に触れ、自身の内面が変わっていくような旅のスタイルです。外国人からも人気が高く、長期滞在が見込まれ、観光消費額も大きいという特徴があり、自然・文化などの地域資源を活かせる重要な観光コンテンツの1つです。（観光庁のサイトより）

求められる世界標準の救急スキル



インバウンドで訪れる外国人の一部が、ガイドなどに世界標準の救急スキルを求めることがあります。その背景として各国のアウトドアガイドは野外救急法スキルを身につけています。

- ・カナダ山岳ガイド協会：80 時間以上
- ・アメリカ山岳ガイド協会：WFR（80 時間）以上
- ・ニュージーランド山岳ガイド協会：5 日間

その根底にある「Standard of Care」

救助隊がすぐに来られない、病院にすぐに行くことができない山岳環境等でのガイドなどには、そのことを想定した救急スキルが求められるという考え方。

法廷闘争に発展した際には、「ガイドはこの概念を知りながらなぜカリキュラムを受講し準備をしなかったのか」という論争も起こりえる。

世界標準の救急法プログラム提供体制

Wilderness Medical Associates International は約 40 年前に北米発祥の野外・災害救急法の世界的パイオニア。31 ヶ国で展開、年間資格取得者は 11,000 人以上。2007 年に日本導入。

国内採用実績

- ・長野県山岳ガイド資格「信州登山案内人」必須救急法の一つ
- ・北海道アドベンチャートラベル人材育成事業
- ・国立北海道教育大学「アウトドアライフ専攻」2 年次必須単位
- ・東京都「自然保護指導員（都レンジャー）」研修プログラム
- ・東京都自然ガイド講習（三宅島・御蔵島）安全管理講習
- ・警察・消防・自衛隊等へのカリキュラム提供 ほか

カリキュラム

医療をベースにアウトドアや災害を想定した救急医や救助隊経験者、アウトドアプロガイドによって創られています。最新の医療情報を考察し、常にアップデートしています。



医療アドバイザーによる国内のカリキュラムの質の維持・事例の検証

左から、米田 哲（小児科/感染症医）、稲垣泰斗（救急医）
中村富士美（国際山岳看護師）、茶谷 奨（精神科医）

インストラクター

医療、アウトドア、教育の全てでプロフェッショナルレベルの資格・スキルを持っています。

コースのご紹介

WFA ベーシックレベル

- ・野外ボランティアや災害ボランティア

WAFA アドバンスレベル

- ・ガイド・指導者・登山パーティーのリーダーなど

WMAJ ガイドセミナー

対象者と目的に合わせてカスタマイズ
インストラクターを派遣し、ご希望の場所で開催



一般社団法人
ウィルダネスメディカルアソシエイツジャパン

www.wmajapan.com

info@wildmed.jp

東京都練馬区石神井町 7-32-19

tel.03-6763-0030

